

病院・医療の質（クリニカルインディケータ）について

医療の質の評価・公表等推進事業項目（日本病院会）		多治見病院指数（H22.4.1～H23.3.31）		
			分子	分母
1	患者満足度(外来患者)	78.70点		
2	患者満足度(入院患者)	85.30点		
3	死亡退院患者率	3.50%	406件	11,739人
4	入院患者の転倒・転落発生率	3.25%	382件	11,739人
5	入院患者の転倒・転落による損傷発生率	0.05%	*件	*人
6	退院後6週間以内の緊急再入院率	5.57%	654人	11,739人
7	予防可能であった可能性のある静脈血栓塞栓症の発症率	0.00%	0人	229人
8	手術患者における入院期間中の静脈血栓塞栓症発生率	0.06%	*人	*人
9	褥瘡発生率	0.92%	108件	11,739人
10	手術患者における静脈血栓塞栓症の予防行為実施率	85.98%	1404人	1,633人

注：*は数が少ないため秘匿しています。

☆解説☆掲載

1・2 患者満足度

…患者満足度調査中『総合的に県立多治見病院について、100点満点で評価すると何点くらいになりますか』の質問の回答の平均値を示しています。

3 死亡退院患者率…退院患者のうち死亡退院した患者の割合を示しています。

4 入院患者の転倒・転落発生率…入院中の患者の転倒・転落件数の割合を示しています。

5 入院患者の転倒・転落による損傷発生率

…転倒転落件数のうち損傷レベル2（軽度 包帯、氷、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた場合）以上の転倒・転落件数としています。

6 退院後6週間以内の緊急再入院率

…退院患者のうち退院後6週間以内に緊急再入院した患者の割合を示しています。

7 予防可能であった可能性のある静脈血栓塞栓症の発症率

…15歳以上の全身麻酔手術を実施した患者で肺血栓塞栓予防管理料を算定されていない患者のうち入院期間中に静脈血栓塞栓症を新規発症した患者の割合を示しています。

（肺血栓塞栓予防管理料：肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン（2009年改訂版）に準拠した場合に算定。）

8 手術患者における入院期間中の静脈血栓塞栓症発生率

…15歳以上の全身麻酔手術を実施した患者のうち入院期間中に静脈血栓塞栓症を新規発症した患者の割合を示しています。

9 褥瘡発生率

…入院患者のうち、入院期間中にd2（褥瘡の深さのレベルで真皮までの損傷の場合）以上の褥瘡が発生した患者の割合を示しています。

（褥瘡：看護ケアの質評価の重要な指標の1つで、発生すると患者のQOL（生活の質）の低下を招き、結果的に在院日数の長期化や医療費の増大にもつながります。）

10 手術患者における静脈血栓塞栓症の予防行為実施率

…15歳以上の全身麻酔手術を実施した患者のうち肺血栓塞栓予防管理料を算定している患者の割合を示しています。